



天神での街頭署名の様子 (2014.4.26)

福岡市議会・6月議会

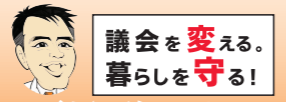
引き継ぎ「子ども行政」の在り方で論戦！ 青少年科学館の整備手法について質疑を行いました！

今日も！ 胸を張って、元気よく！！

福岡市議会議員 田中しんすけ

議会通信 第28号 2014年夏号

発行者：福岡市議会議員 田中しんすけ (福岡市民クラブ)
〒810-0014 福岡市中央区平尾2-3-21 城戸ビル201
TEL 092-521-3650 FAX 092-521-5221
URL : http://www.tanakashinsuke.jp
E-mail : info@tanakashinsuke.jp



議会を **変える。**
暮らしを **守る！**



今年もまた夏がやってきました。2014年は西日本が猛暑になる可能性が高いということですので、みなさんも日々の体調管理にはお気を付け下さい！田中しんすけは先日、第20回目を迎えた「中央区ソフトバレーボール大会」に選手として出場しました。長時間のプレーになるとだんだん体のキレが落ちてくる感じがして少しショック…。これからはもっと普段のトレーニングにも力を入れて臨みたいと思います。今回の議会通信では、福岡市議会6月定例会における「議案質疑」の内容を中心にレポートします。

議会活動 未来に責任を持つために！ ～(仮称)福岡市青少年科学館の整備手法を検証～ 6月定例会 議案質疑 「今一度、立ち止まって整備手法の再考を」

議案の概要

今議会では、「福岡市青少年科学館に係る賃貸借についての債務負担行為」に関して質疑を行ないました。今回の債務負担行為は、本市の少年科学文化会館の移転再整備事業に伴うものです。内容としては、本市が「JR九州が九州大学六本松キャンパス跡地に建設する複合施設内に、青少年科学館を賃借入居方式で整備するに当たり、本市がJR九州に対して今後30年間にわたる賃料の支払いを担保する」ために議会に提案されたものであり、金額については30年分の賃料に相当する94億5,880万円が計上されました。

論点

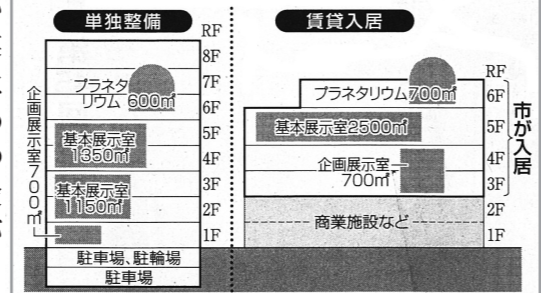
ひとつは「**財政負担の軽減**」について。青少年科学館の整備手法としては「(PFIによる)単独整備」と「民間企業との一体整備(賃借入居方式)」とが比較されましたが、**民間企業との一体整備の方が30年間で36億円、50年間で17億円、財政負担が少ない**との答弁。また、賃借入居した際にJR九州に支払う賃料については、本市が要求水準書に示した金額(坪単価11,428円)よりも5%減額した金額で決まったという答弁でした。もう一つは「**債務負担行為の設定期間**」について。議案の内容を簡潔に言うと、「福岡市が今後30年間にわたって家賃を払い続けることを保証する」というものです。本市において、30年という長期の債務負担行為がこれまで議会に対して提案されたことがあるのか質したところ、**高速道路やダムなどの大規模インフラの維持管理についてはあるが、賃料に限った場合の長期の事例は無い**との答弁でした。

結論

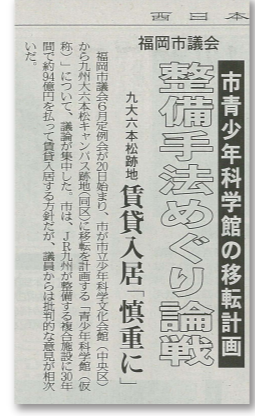
財政負担の軽減にはつながらない！
今回の質疑で明らかになったのは、土地を所有することを前提すれば、**運営期間50年で比べた場合、単独整備の方が財政支出は4億円少なくなる**という事実。JR九州と合意した賃料についても、その金額の妥当性を示す具体的説明はなされませんでした。

あまりにも長すぎる契約期間！
今回のような30年間にわたる賃貸借にかかる債務負担行為が議会に提案されたことは過去に一度もありません。「**債務負担行為の期間をもっと短くして、さらに途中でも契約内容(賃料含む)を見直すことが出来るような実効性のある中身にすべき**」と主張しましたが、具体的な答弁は得られませんでした。

青少年科学館を中央区六本松に整備すること自体は、地下鉄七隈線との連携も含めてアクセスも良く、九大の跡地という点を考慮すれば望ましいことです。しかし、その整備手法についてはまだまだ議論の余地が多いというのが実感です。本市による単独整備も含めて、整備手法については引き続き検討を重ねる必要があります。



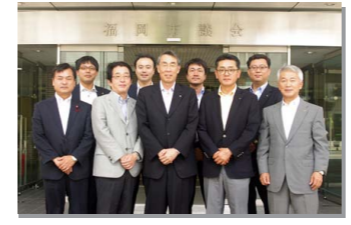
▲整備手法の比較イメージ(西日本新聞 6月21日付)



▲西日本新聞(6月21日付)

福岡市議会「福岡市民クラブ」が発足！ 新会派でも政調会長を拝命しました！

2014年4月21日、私たちはこれまでの会派「民主・市民クラブ」の名称を新たに「福岡市民クラブ」と変更しました。名称変更の理由は、私たちがローカルマニフェストの中で目指してきた①地域主権を実感できるまち・福岡(地域主権戦略)、②生活保障に支えられるまち・福岡(生活保障戦略)、③成長プラットホームシティ・福岡(成長戦略)からなる「福岡市政の改革戦略」の実現に向けて、福岡市議会の中で党派を超えて幅広い力を結集させるための受け皿にしたい、という強い思いにあります。



▲市政改革に向けて気持ちも新たに！

これまで8名だったメンバー議員も、新たに吉武輝実議員を加えて9名に増加。田中しんすけも新たな会派の中で引き続き政調会長としての役割を果たしていきます。

議会活動

福岡市議会・常任委員会 第3委員会の委員長に就任しました！

2014年5月21日に召集された臨時議会において、田中しんすけは福岡市議会第3委員会の委員長を拝命しました。昨年度に引き続いての委員長職の拝命に、身の引き締まる思いです。所管する行政部局は、経済観光文化局、港湾局、農林水産局の3局。福岡市の経済・雇用、観光戦略や文化施策、港を中心とした人とモノの流通、福岡市の特性を活かした農業・林業・水産業全般に関する事項などを専門的に審査します。常任委員会の委員長になると、委員会当日の運営はもちろん、事前の段取りの確認や委員会資料の指示・修正など、円滑な議事運営に向けての様々な作業に責任を持たなければなりません。また、対外的にも議会を代表して多くの催事や式典に出席することが増えてくる役職です。

昨年度の経験を活かして、ますます胸を張って元気よく頑張ります！



民主党福岡県連青年委員会 政治スクール「青政塾2014」が開講しました！

民主党福岡県連では青年委員会の主催により、5月より政治スクール「青政塾2014」(全5回)を開催しています。今年で3回目を迎えるこの青政塾、今回は19名の受講生を迎えての開校となりました。

国政、地方政治の現場で議員が何を考え、どのように行動しているのか？政治と暮らしをつなぐために、私たちはどう取り組まなければならないのか？国会議員や地方議員が時には講師となり、時には受講生の皆さんと車座になって、共に議論を深めていくことをコンセプトにしています。



▲講座の冒頭で挨拶する田中しんすけ

田中しんすけは青年委員長という役目を頂いていることから、この青政塾では塾長を務めています。これからの地域を、国を支えていく人材が一人でも多く世に出ることを願って、私もしっかり頑張ります！

政治活動

頑張ってます！民主党学生部リユーズ 一泊研修を実施しました！

2014年5月24日、民主党福岡県連学生部(通称:リユーズ)が一泊研修を行ない、知覧特攻平和会館(鹿児島)と長崎原爆資料館(長崎)を訪問。田中しんすけも学生部を統括する立場から、彼らに随行しました。

今回の一泊研修は『過去の歴史を学び、未来に活かす』というコンセプトに基づき「戦争」をテーマに企画されました。研修後の成果報告会では、メンバーの一人ひとりが「戦争をただ悲しい出来事だと終わらせず、当時の日本の様子、人々の心情、また、平和とは何か、どうすれば平和になるのか、平和のために自分にできることは何かなど、深いところまで突き詰めることが出来た」ようです。

これからも、彼らの自主的な学びをサポートしていきたいと思っています！



▲ガイドさんの説明に耳を傾ける学生部

第20回中央区 in中央体育館 地域活動 ソフトバレーボール大会に出場しました！

2014年6月29日(日)、赤坂にある中央体育館にて中央区ソフトバレーボール大会が開催されました。今回で20回目を迎える節目の大会、各小学校区で予選を勝ち抜いた代表26チームが熱戦を繰り広げました。田中しんすけも今大会で5回目の出場となりましたが、初めて監督として采配を振るう立場での参加でもあり、普段の大会と比べると少し肩に力が入ったプレーでした(笑)。

今年も例年同様の盛り上がりを見せたソフトバレーボール大会、およそ5時間の激戦の末に栄冠の優勝カップを手にしたのは平尾校区(男子の部)と赤坂校区(女子の部)でした。勝っても負けても、参加すれば清々しい汗を流せる、それが地域スポーツの魅力ですね！



▲当日の試合風景(中央体育館)

田中しんすけ 市政相談承ります！

もちろん **無料** です！

田中しんすけ 事務所 (しえAvenue2F)

☎ 521-3650

田中しんすけ 昭和53年6月14日生まれ (36歳)

1991年 西高宮小学校 卒業	2004年 早稲田大学大学院 政治学研究所修士課程 修了
1994年 西南学院中学校 卒業	同年 アクセンチュア 株式会社 入社
1997年 筑紫丘高等学校 卒業	2007年 福岡市議会議員(1期)
2001年 九州大学法学部 卒業	2011年 福岡市議会議員(2期)



天神での街頭署名の様子 (2014.4.26)

福岡市議会・6月議会

引き継ぎ「子ども行政」の在り方で論戦！ 青少年科学館の整備手法について質疑を行いました！

今日も！ 胸を張って、元気よく！！

福岡市議会議員

田中しんすけ

議会通信 第28号 2014年夏号

発行者：福岡市議会議員 田中しんすけ
(福岡市民クラブ)
〒810-0014 福岡市中央区平尾2-3-21 城戸ビル201
TEL 092-521-3650 FAX 092-521-5221
URL : http://www.tanakashinsuke.jp
E-mail : info@tanakashinsuke.jp

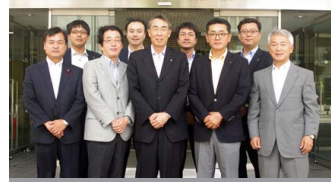


議会を **変える。**
暮らしを **守る！**



福岡市議会「福岡市民クラブ」が発足！ 新会派でも政調会長を拝命しました！

2014年4月21日、私たちはこれまでの会派「民主・市民クラブ」の名称を新たに「福岡市民クラブ」と変更しました。名称変更の理由は、私たちがローカルマニフェストの中で目指してきた①地域主権を実感できるまち・福岡(地域主権戦略)、②生活保障に支えられるまち・福岡(生活保障戦略)、③成長プラットホームシティ・福岡(成長戦略)からなる「福岡市政の改革戦略」の実現に向けて、福岡市議会の中で党派を超えて幅広い力を結集させるための受け皿にしたい、という強い思いにあります。



▲市政改革に向けて気持ちも新たに！

これまで8名だったメンバー議員も、新たに吉武輝実議員を加えて9名に増加。田中しんすけも新たな会派の中で引き続き政調会長としての役割を果たしていきます。

議会活動

福岡市議会・常任委員会 第3委員会の委員長に就任しました！

2014年5月21日に召集された臨時議会において、田中しんすけは福岡市議会第3委員会の委員長を拝命しました。昨年度に引き続いての委員長職の拝命に、身の引き締まる思いです。所管する行政部局は、経済観光文化局、港湾局、農林水産局の3局。福岡市の経済・雇用、観光戦略や文化施策、港を中心とした人とモノの流通、福岡市の特性を活かした農業・林業・水産業全般に関する事項などを専門的に審査します。常任委員会の委員長になると、委員会当日の運営はもちろん、事前の段取りの確認や委員会資料の指示・修正など、円滑な議事運営に向けての様々な作業に責任を持たなければなりません。また、対外的にも議会を代表して多くの催事や式典に出席することが増えてくる役職です。

昨年度の経験を活かして、ますます胸を張って元気よく頑張ります！



民主党福岡県連青年委員会 政治スクール「青政塾2014」が開講しました！

民主党福岡県連では青年委員会の主催により、5月より政治スクール「青政塾2014」(全5回)を開催しています。今年で3回目を迎えるこの青政塾、今回は19名の受講生を迎えての開校となりました。

国政、地方政治の現場で議員が何を考え、どのように行動しているのか？政治と暮らしをつなぐために、私たちはどう取り組まなければならないのか？

国会議員や地方議員が時には講師となり、時には受講生の皆さんと車座になって、共に議論を深めていくことをコンセプトにしています。



▲講座の冒頭で挨拶する田中しんすけ

田中しんすけは青年委員長という役目を頂いていることから、この青政塾では塾長を務めています。これからの地域を、国を支えていく人材が一人でも多く世に出ることを願って、私もしっかり頑張ります！

政治活動

頑張ってます！民主党学生部リユーズ 一泊研修を実施しました！

2014年5月24日、民主党福岡県連学生部(通称:リユーズ)が一泊研修を行ない、知覧特攻平和会館(鹿児島)と長崎原爆資料館(長崎)を訪問。田中しんすけも学生部を統括する立場から、彼らに随行しました。

今回の一泊研修は「過去の歴史を学び、未来に活かす」というコンセプトに基づき「戦争」をテーマに企画されました。研修後の成果報告会では、メンバーの一人ひとりが「戦争をただ悲しい出来事だと終わらせず、当時の日本の様子、人々の心情、また、平和とは何か、どうすれば平和になるのか、平和のために自分にできることは何かなど、深いところまで突き詰めることが出来た」ようです。

これからも、彼らの自主的な学びをサポートしていきたいと思っています！



▲ガイドさんの説明に耳を傾ける学生部

議会活動

未来に責任を持つために！～(仮称)福岡市青少年科学館の整備手法を検証～

6月定例会
議案質疑

「今一度、立ち止まって整備手法の再考を」

議案の概要

今議会では、「福岡市青少年科学館に係る賃貸借についての債務負担行為」に関して質疑を行ないました。今回の債務負担行為は、本市の少年科学文化会館の移転再整備事業に伴うものです。

内容としては、本市が「JR九州が九州大学六本松キャンパス跡地に建設する複合施設内に、青少年科学館を賃借入居方式で整備するに当たり、本市がJR九州に対して今後30年間にわたる賃料の支払いを担保する」ために議会に提案されたものであり、金額については30年分の賃料に相当する94億5,880万円が計上されました。

論点

ひとつは「財政負担の軽減」について。青少年科学館の整備手法としては「(PFIによる)単独整備」と「民間企業との一体整備(賃借入居方式)」とが比較されましたが、民間企業との一体整備の方が30年間で36億円、50年間で17億円、財政負担が少ないとの答弁。また、賃借入居した際にJR九州に支払う賃料については、本市が要求水準書に示した金額(坪単価11,428円)よりも5%減額した金額で決まったという答弁でした。

もう一つは「債務負担行為の設定期間」について。議案の内容を簡潔に言うと、「福岡市が今後30年間にわたって家賃を払い続けることを保証する」というものです。本市において、30年という長期の債務負担行為がこれまで議会に対して提案されたことがあるのか質したところ、高速道路やダムなどの大規模インフラの維持管理についてはあるが、賃料に限った場合の長期の事例は無いとの答弁でした。

結論

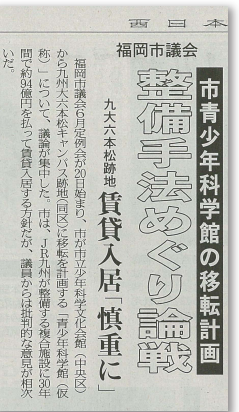
財政負担の軽減にはつながらない！

今回の質疑で明らかになったのは、土地を所有することを前提すれば、運営期間50年で比べた場合、単独整備の方が財政支出は4億円少なくなるという事実。JR九州と合意した賃料についても、その金額の妥当性を示す具体的説明はなされませんでした。

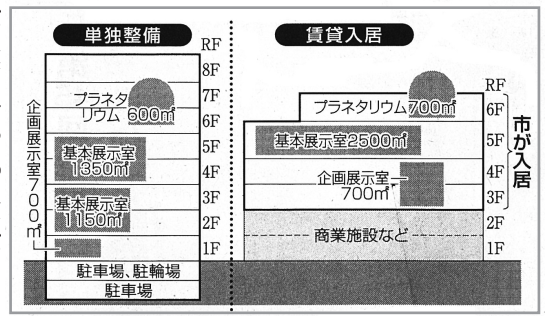
あまりにも長すぎる契約期間！

今回のような30年間にわたる賃貸借にかかる債務負担行為が議会に提案されたことは過去に一度もありません。「債務負担行為の期間をもっと短くして、さらに途中でも契約内容(賃料含む)を見直すことが出来るような実効性のある中身にすべき」と主張しましたが、具体的な答弁は得られませんでした。

青少年科学館を中央区六本松に整備すること自体は、地下鉄七隈線との連携も含めてアクセスも良く、九大の跡地という点を考慮すれば望ましいことです。しかし、その整備手法についてはまだまだ議論の余地が多いというのが実感です。本市による単独整備も含めて、整備手法については引き続き検討を重ねる必要があります。



▲西日本新聞(6月21日付)



▲整備手法の比較イメージ(西日本新聞 6月21日付)

第20回中央区 in中央体育館 地域活動 ソフトバレーボール大会に出場しました！

2014年6月29日(日)、赤坂にある中央体育館にて中央区ソフトバレーボール大会が開催されました。今回で20回目を迎える節目の大会、各小学校区で予選を勝ち抜いた代表26チームが熱戦を繰り広げました。田中しんすけも今大会で5回目の出場となりましたが、初めて監督として采配を振るう立場での参加でもあり、普段の大会と比べると少し肩に力が入ったプレーでした(笑)。

今年も例年同様の盛り上がりを見せたソフトバレーボール大会、およそ5時間の激戦の末に栄冠の優勝カップを手にしたのは平尾校区(男子の部)と赤坂校区(女子の部)でした。勝っても負けても、参加すれば清々しい汗を流せる、それが地域スポーツの魅力ですね！



▲当日の試合風景(中央体育館)

田中しんすけ市政相談所
もちろん無料です！
西鉄平尾駅 筑肥新道 平尾四角 山荘通り
高宮通り
田中しんすけ事務所 (しんすけ2F)
521-3650

田中しんすけ 昭和53年6月14日生まれ(36歳)

1991年	西高宮小学校	卒業	2004年	早稲田大学大学院	政治学研究科修士課程	修了
1994年	西南学院中学校	卒業	同年	アクセンチュア株式会社	入社	
1997年	筑紫丘高等学校	卒業	2007年	福岡市議会議員(1期)		
2001年	九州大学法学部	卒業	2011年	福岡市議会議員(2期)		